

報道関係各位

2023年9月7日
ソフトバンクロボティクス株式会社

有名店監修のラーメンを最速 90 秒で提供 自動調理ロボット「CHEFFY」を販売開始

—「中華蕎麦 とみ田」「らぁ麺 飯田商店」などの有名店 11 店舗がメニュー開発に参画—

ソフトバンクロボティクス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：富澤 文秀）は、オフィスや宿泊施設、商業施設、飲食店向けに、有名店監修のラーメンを提供する自動調理ロボット「CHEFFY（シェフイー）」の国内販売を9月7日より開始します。



「CHEFFY」は、他の自動調理ソリューションでは実現できない、みずみずしく、熱々のラーメンを最速 90 秒で自動調理できるロボットです。この特性を生かし、世界中で高く評価されている日本の名店のラーメンを全国^{※1}の宿泊施設、商業施設、飲食店、オフィスなどで提供できるようになりました。日本を代表する有名ラーメン店に参画いただき、ラーメンお取り寄せサイト「宅麺.com」を運営するグルメイノベーション株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：井上 琢磨）の全面協力のもと、“こだわりの一杯”を開発しました。

製品 Web ページ URL : <https://www.softbankrobotics.com/jp/product/autocook/cheffy/>

■ 参画ラーメン店 (11 店舗)



■ 販売中のラーメンメニュー

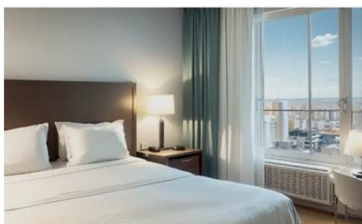


■ 今後販売予定のラーメンメニュー※2



■ 設置施設のメリット

ホテル・旅館



宿泊プランにCHEFFYのラーメンクーポンをパッケージ化することで、インパウンドを中心とした集客力の向上。

商業施設・飲食施設



自動調理ロボット設置と定期的なメニュー更新による話題性の提供。既存の飲食機能に加えることで、ピークタイムでも豊富な選択肢を実現。

オフィス



自動調理ロボットの設置と電気代の負担だけで、休憩室や営業時間外の食堂でも、お食事の提供がいつでも可能。

■ 導入事例

「CHEFFY」の国内での販売開始に合わせ、株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原 章郎）が運営する「GURUNAVI FOODHALL WYE（ぐるなびフードホールワイ） 天空橋」にて、本日より「CHEFFY」の運用が開始されます。



株式会社ぐるなび インノベーション事業部 店舗開発部 高橋 毅様のコメント：

「GURUNAVI FOODHALL WYE」は、「地域の食の発信 新たな『おいしい』に出会える場所。」をコンセプトとして全国各地のご当地メニューなどを提供しており、今回「CHEFFY」を導入することで有名店監修のラーメンを新たにラインアップすることができました。ワンストップで複数店舗の味を楽しむことから、日本人のお客様だけでなく訪日外国人観光客まで、幅広いお客様のご利用に期待したいです。

また、当社が運営する人とロボットが共に働くカジュアルダイニング「Pepper PARLOR」（東急プラザ渋谷）での運用を開始しているほか、飲食施設や宿泊施設などでの導入を予定しています。

■「ラーメン産業展」への出展

「CHEFFY」を多くの方に体感いただくため、2023年9月13日から14日に東京ビックサイトで開催される「ラーメン産業展」に出展いたします。ブースでは、実機をご覧いただきながら、ラーメンを召し上がっていただけます。

<イベント概要>

- ・イベント名：ラーメン産業展 in Japan
- ・開催日時：2023年9月13日（水）・14日（木） 午前10時～午後5時
- ・会場：東京ビックサイト 東1・2・3ホール
- ・ブース：東1ホール 2A-22
- ・主催：FOOD STYLE Japan 実行委員会（ラーメン産業展 事務局）
- ・開催概要：<https://ramenexpo.jp/tokyo.php>

■ソフトバンクロボティクスのフードテックに関する取り組み

ソフトバンクロボティクスは、できたてのラーメンをその場で味わう事のできる「CHEFFY」に加えて、全国の人気ラーメン店の味をそのまま味わう事の出来るラーメンお取り寄せサイト「宅麺.com」と連携して、全国約300店舗のラーメンを実店舗や冷凍自販機、ECサイトにて、日本全国へお届けする事業を進めてまいります。2023年9月中旬より、より気軽に「宅麺.com」のラーメンをご体験いただけるよう、当社が運営する「Pepper PARLOR」（東急プラザ渋谷）で数種類の「宅麺.com」の商品の販売を開始します。



また、当社はシリコンバレーのフードテックベンチャーYo-Kai Express Inc.（本社：米国カリフォルニア州、創業者兼CEO：Andy Lin）の日本事業におけるテクノロジーパートナーを務めており、Yo-Kai Express のテクノロジーを活用したフードテックソリューションの販売を通し、人手不足が深刻化する飲食業界の支援に取り組んでまいります。

■ソフトバンクロボティクス株式会社について

ロボットソリューションのフロントランナーとして2014年いち早く人型ロボット「Pepper」を発表、さらに清掃ロボット「Whiz」、配膳・運搬ロボット「Servi」を開発・販売開始し、床洗浄ロボット「Sucrubber 50」、配膳ロボット「Keenbot」などさまざまな製品の取り扱いも開始。現在では、世界12カ所に拠点を構え、製品は70カ国以上で活躍。豊富な経験、膨大な稼働データ、世界的ネットワークを活用し、「ロボットインテグレーター（RI）」として、様々なロボットが生き生きと活躍し、人とロボットが共生する社会の実現に向けて邁進していきます。

※1：現在、一部の国では既に販売しています。

※2：その他参画ラーメン店のメニューも順次発売予定です。